

## 1. 科学技術連携施策群について

### (1) 目的

「科学技術連携施策」(以下「連携群」という。)は、各府省の縦割りの施策に横串を通す観点から、総合科学技術会議(CSTP)が国家的・社会的に重要であって関係府省の連携の下に推進すべきテーマ/群ごとの関連施策の不必要な重複を排除し連携強化を図るために、平成17年度より推進しているものである。また、これにより、相乗効果、融合効果が発揮され、全体としてより優れた成果を生み出すことが期待される。

### (2) 対象テーマ/群

平成17年度に8テーマ/群が設定され、連携群の活動が開始された。

さらに、平成18年度には、連携プログラムの中間的な評価(「連携群の成果及び今後の課題と進め方(中間報告)」基本政策推進専門調査会)を行った結果、平成19年度より6テーマ/群を新たに追加した。(表1 「科学技術連携施策群の対象テーマ、補完的課題一覧」参照。)

### (3) 推進体制

連携効果を高めるため、連携群ごと、総合科学技術会議の下に連携推進の場を設けるとともに、コーディネーターを配置し、一体的に推進する重複排除を徹底した上で、連携群の中で補完的に実施すべき研究開発課題については、総合科学技術会議のイニシアティブの下、必要に応じ科学技術振興調整費を活用して実施する

との基本的考え方の下で、総合科学技術会議の有識者議員及び専門委員(コーディネーター)がイニシアティブを発揮し、事務局を務める内閣府を中心として関係府省の協力を得つつ推進してきた。

また、科学技術振興調整費による「連携群の効果的・効率的な推進」プログラムを活用し、(独)科学技術振興機構の支援を得て、担当する有識者議員の識見を基に、コーディネーターが中心となり、府省の連携強化や府省施策の不必要な重複排除、連携群の進行管理等を行う会合、連携群の成果の社会への還元にも資するシンポジウムの開催等の取組みを行ってきた。

### (4) 補完的に実施すべき研究開発課題(補完的課題)の実施

各連携群の推進に当たっては、共通の研究基盤の整備や、関係府省の施策全体を俯瞰して抽出された欠落課題(連携群の推進のために必要であるにもかかわらず、取組みが欠落している研究開発課題)の実施を目的として、科学技術振興調整費を活用した補完的課題を実施した。

なお、補完的課題は、公募する課題を総合科学技術会議が設定した上で、文部科学省が公募・選考手続きを行い、総合科学技術会議の有識者議員の了承を経て、決定した。また、終了した補完的課題については、文部科学省が事後評価

を行った後に、総合科学技術会議の有識者議員が確認し事後評価が終了することとなる。

#### (5) フォローアップの実施について

各連携群は、それぞれ選定された全ての補完的課題が終了した年度をもって科学技術振興調整費プログラムを活用した活動は終了するが、これは連携群の取組みの終了を意味するものではない。

科学技術振興調整費プログラムが終了する際にはフォローアップを行い、連携群ごとに成果と今後の進め方を取りまとめ、それに基づき、担当分野別 PT を中心に関係府省が連携して、引き続き必要な取組みを推進することとしている。

平成 20 年度までに、合計 8 つのテーマ / 群について科学技術振興調整費プログラムによる活動を終了したため、それらのフォローアップ結果を取りまとめている。さらに、平成 21 年度は、「臨床研究・臨床への橋渡し研究」、「食料・生物生産研究」、「情報の巨大集積化と利活用基盤技術開発」、「総合的リスク評価による化学物質の安全管理・活用のための研究開発」、「ナノテクノロジーの研究開発推進と社会受容に関する基盤開発」、「テロ対策のための研究開発 - 現場探知システムの実現 - 」の、合計 6 つのテーマ / 群についてフォローアップを行うこととなった。

表1 科学技術連携施策群の対象テーマ、補完的課題一覧

連携施策群のテーマ 【関係省庁名】	コーディネーター	【開始～終了年度】
生命科学の基礎・基盤 【文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省】	五條堀 孝 国立遺伝学研究所 副所長・教授	【平成17～19年度】
水素利用／燃料電池 【総務省、文部科学省、経済産業省、資源エネルギー庁、国土交通省、環境省】	本田 國昭 大阪ガス(株)技術開発本部参与	【平成17～19年度】
地域科学技術クラスター 【総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省】	清水 勇 (独)工業所有権情報・研修館 理事長	【平成17～19年度】
新興・再興感染症 【内閣府(食品安全委員会)、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、環境省】	倉田 毅 富山県衛生研究所 所長	【平成17～20年度】
ユビキタスネットワーク - 電子タグ技術等の展開 - 【総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省】	齊藤 忠夫 (株)トヨタIT開発センターCTO・チーフサイエンティスト	【平成17～20年度】
次世代ロボット - 共通プラットフォーム技術の確立 - 【総務省(消防庁)、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省】	佐藤 知正 東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授	【平成17～20年度】
ナノバイオテクノロジー 【文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省】	梶谷 文彦 川崎医療福祉大学 副学長	【平成17～20年度】
バイオマス利活用 【総務省(消防庁)、文部科学省、農林水産省、経済産業省(資源エネルギー庁)、国土交通省、環境省】	鈴木 基之 放送大学 教授	【平成17～20年度】
臨床研究・臨床への橋渡し研究 【文部科学省、厚生労働省、経済産業省】	松澤 佑次 (財)住友病院 院長	【平成19～21年度】
食料・生物生産研究 【内閣府(食品安全委員会)、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省】	小川 奎 (財)日本植物調節剤研究協会会長	【平成19～21年度】
情報の巨大集積化と利活用基盤技術開発 【総務省、文部科学省、経済産業省】	西尾 章治郎 大阪大学理事・副学長	【平成19～21年度】
総合的リスク評価による化学物質の安全管理・活用のための研究開発 【厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省】	安井 至 (独)製品評価技術基盤機構 理事長	【平成19～21年度】
ナノテクノロジーの研究開発推進と社会受容に関する基盤開発 【文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省】	中西 準子 (独)産業技術総合研究所安全科学研究部門 研究部門長	【平成19～21年度】
テロ対策のための研究開発 - 現場探知システムの実現 - 【内閣官房、警察庁、総務省、財務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、防衛省】	森地 茂 政策研究大学院大学 教授	【平成19～21年度】

